



平成31年3月号 (第274号)



生物多様性ポスト 2020 目標アジア太平洋地域
ワークショップが開催されました (P4)



「2019 愛知環境賞」の表彰式を行いました (P6)



「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました (P7)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！
<http://aichi-eco.com>



あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の 実施団体を募集します

愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習の取組を促進するため、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を平成 21 年度から行っています。

現在、平成 31 年度に実施する企画提案事業を募集していますので、ご応募ください。

1 対象とする団体

NPO 法人、ボランティア団体、農協、漁協、森林組合、自治会、私立学校、市町村等（愛知県内に活動の拠点を置く、5 人以上の団体）

2 募集期限

3 月 18 日（月）まで（必着）

3 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3 部。様式は下記の Web ページでダウン

ロードできます。

4 提出場所

主な事業実施場所を所管する東三河総局又は県民事務所等（名古屋市内の取組は環境活動推進課）。



活動の様子（ビオトープ整備）

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000023749.html>)

（環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン））

まなびや 「もりの学舎まつり」を開催します

愛知県では、愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」で、「もりの学舎まつり」を名古屋キワニスクラブの協賛を得て開催します。

当日は、「キッズインタープリターの自然体感プログラム」や、地図を片手にクイズや遊びに挑戦する「森のたんけんゲーム」、様々な自然遊びをする「森のあそびバ!」、「もりのコンサート」など、多くのプログラムを実施します。

また、「キッズインタープリターの自然体感プログラム」と「森のたんけんゲーム」に参加した先着各 200 名の方に、記念品をプレゼントします。

事前申込み不要で、参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしています。

1 日時 3 月 17 日（日） 11:00～15:00

2 プログラムの実施時間

(1) キッズインタープリターの自然体感プログラム 11:20～15:00



昨年の様子

(2) 森のたんけんゲーム 11:20～15:00

(3) 森のあそびバ! 11:20～15:00

(4) もりのコンサート 13:00～13:20

(5) 「もりの学舎キッズクラブ」写真展

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/h31fes.html>)

※ 雨天の場合、プログラムの変更があります。

（環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン））

まなびや もりの学舎春休み特別企画を実施します

愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では、3月23日(土)から4月7日(日)まで、(一社)愛知県産業廃棄物協会の協力を得て、春休み特別企画を実施します。

期間中は、特別プログラムとして、リサイクル素材や木の実を使った工作教室「あそび工房」や、自然と触れ合うプログラム「さわってさがそう」、「紙芝居、読み聞かせ」を実施します。

事前申込み不要で、参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしています。また、もりのツアーなどのインタープリターによる通常プログラムも実施しています。

<主なプログラム>

1 あそび工房(所要時間:各30分)

土日 11:30、13:00、14:30 から

平日 11:30、14:00 から



あそび工房の作品例

2 さわってさがそう

土日 10:15~15:15 随時

3 紙芝居、読み聞かせ

土日 10:15~15:15 随時

他にも、様々なプログラムを実施しています。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/h31spr.html](https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/h31spr.html))

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

あえる 「AELネット環境学習スタンプラリー」を開催しました

県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(愛称:AELネット)に加盟する民間や市町村など172の環境学習施設等と連携して、平成30年6月22日から平成31年2月28日まで「AELネット環境学習スタンプラリー」を開催しました。このスタンプラリーは、環境学習施設等への来館、環境をテーマとした講座・イベントへの参加により、スタンプを3個以上集めてご応募いただくと、スタンプの数に応じて、抽選で最大5,000円分の図書カードなどの記念品をプレゼントするものです。

約8か月の開催期間中、多くの方が参加され、記念品の抽選には4,000通を超える応募がありました。

参加者からは、「このスタンプラリーをきっかけに様々な施設に行けた」、「次はどこか環境学習施設に行こうかと考える楽しみができた」、「家の近くに、

こんな環境学習施設があるとは知らなかった」、「家族で楽しめた」などの感想が寄せられています。

来年度も6月下旬からスタンプラリーを実施する予定ですので、皆さん是非ご参加ください。

AEL ネット環境学習スタンプラリー対象講座の様子



愛知県野外教育センター
「家族で秋の自然体験！
ネイチャーゲームを楽しもう」

あいち環境学習プラザ
「夏休み環境学習講座」

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

生物多様性ポスト2020 目標アジア太平洋地域ワークショップが 開催されました

1月28日から2月1日にかけて愛知県で「生物多様性ポスト2020 目標アジア太平洋地域ワークショップ」が開催され、生物多様性の現状とポスト2020 目標に入れ込むべき要素などについて議論が行われました。

愛知県は、COP10 の開催地として「愛知目標」* の達成と世界の生物多様性保全の推進に貢献するため、この会議に対して、会場の提供を始め様々な支援を行いました。また、「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」(以下、「連合」という。)を代表してワークショップに参加しました。さらに、企業と連携した生物多様性保全の取組について、現地を見学して説明を受けるエクスカージョン(体験型の見学会)を開催しました。

生物多様性条約事務局では今回の会議を皮切りに、世界各地でワークショップを開催し、2020年に中国で開催されるCOP15に向けてポスト2020目標の検討を進める予定です。

* COP10で採択された生物多様性に係る世界目標

- 1 主催 ワークショップ：生物多様性条約事務局、環境省(開催支援：愛知県)
エクスカージョン：愛知県
- 2 会場 名古屋国際会議場 等
- 3 参加者 アジア太平洋地域の締約国の生物多様性政策担当者等 約100名



ワークショップの様子

4 愛知県の主な活動について

(1) 県主催歓迎レセプション(1月28日)

ワークショップ初日の終了後、参加者を歓迎するとともに、県内で生物多様性保全に取り組む人

たちとの交流の場として、レセプションを開催しました。

(2) 地元経済界と条約事務局との意見交換会

(1月29日)

当地域の経済界や企業の生物多様性保全の取組状況を紹介し、条約事務局と意見交換を実施しました。

(3) 県職員のワークショップへの参加(1月28~31日)

連合を代表して愛知県職員が参加し、1月29日には、生物多様性保全の推進にあたっての地方自治体の役割の重要性について、愛知県の取組を紹介しつつ説明しました。

(4) エクスカージョン(2月1日)

① コースA(参加者18名)

午前はトヨタ車体(株)「刈谷ふれ愛パーク」にて、同社の環境に関する取組の紹介を聞き、ビオトープの視察をしました。

午後はトヨタ自動車(株)「トヨタの森」にて、同社の社会貢献活動の紹介を聞き、インタープリターの引率により里山学習の体験をしました。

② コースB(参加者19名)

午前は出光興産(株)愛知製油所内にて、企業、行政、学生、NPO等様々な主体が連携したグリーンベルトやビオトープ整備を視察しました。

午後は三五コーポレーション(株)「ECO35」にて、同社の生物多様性保全の活動について紹介を受けた後、同社のビオトープ及びその参考となった熱田神宮の森を視察しました。



エクスカージョンの様子(トヨタの森)

自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

「あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会」を開催しました

愛知県内各地域の生態系ネットワーク協議会の構成団体間の相互交流や、学識経験者・専門家との出会いを通して、生物多様性の保全活動が更に活性化されることを目指し、2月16日（土）に「あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会」を開催しました。

- 1 会場 刈谷市産業振興センター 401 会議室
- 2 参加者 生態系保全や生態系ネットワーク形成に携わる NPO・企業・行政・大学等（約 70 名）

3 内容

第1部 テーマ別グループディスカッション

参加者は以下の3つのテーマに分かれ、アドバイザー（学識経験者等）、ファシリテーターを中心にディスカッションを行いました。各参加者の日頃の活動の紹介や、学識経験者・専門家からのアドバイスなどを交えながら、自由な意見交換を行いました。

総括 ^{ただめたか} 武田 穰 氏（岡山大学戦略的プログラム支援ユニット・上級リサーチアドミニストレーター）

テーマ1 希少種・外来種対策

- ◎ ^{せりざわしゅんすけ} 芹沢 俊介 氏（愛知教育大学名誉教授）
- ◎ ^{やべたかし} 矢部 隆 氏（愛知学泉大学教授）
- ◎ ^{ますざわただし} 増澤 直 氏（㈱地域環境計画 生物多様性推進上席マネージャー）

テーマ2 ビオトープ

- ◎ ^{はせがわあきこ} 長谷川 明子 氏（ビオトープ・ネットワーク中部会長）
- ◎ ^{いとうとしや} 伊藤 俊哉 氏（住友林業緑化㈱ 生物多様性推進室 室長）

テーマ3 生態系保全策（里山・湿地・湿原等の保全、鳥獣害対策など）

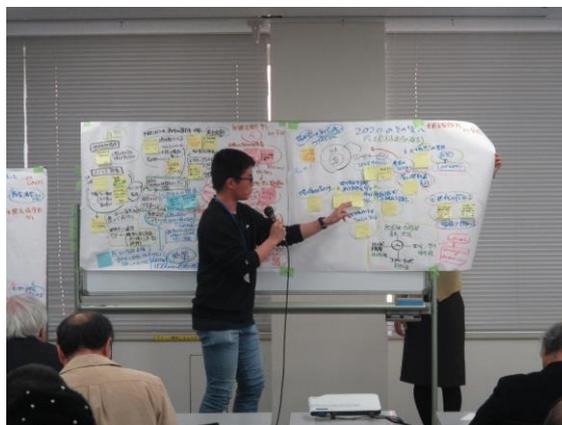
- ◎ ^{はやしすすむ} 林 進 氏（岐阜大学名誉教授）
- ◎ ^{こばやしただひろ} 小林 高浩 氏（(株)オオバ まちづくり部専門部長）
- ◎ ^{こくししげはる} 小串 重治 氏（グリーンフロント研究所㈱代表取締役）
（◎…アドバイザー、○…ファシリテーター）



テーマ別グループディスカッションの様子

第2部 ディスカッション内容の共有

各グループの代表が、グループ内で議論した内容を発表しました。これを受けて、アドバイザーやファシリテーターから、「学生のころから生物多様性に関わってもらうことが人づくりにつながっていく」「希少種保護や外来種駆除の取組のやり方を共有できるようにしたらどうか」など、今後の活動に向けた助言をいただきました。



ディスカッション内容の発表の様子

参加者からは「他の参加者の取組姿勢や考え方がとても参考になった」など、94%の方から「交流会に参加して良かった」との感想が寄せられました。

県では引き続き県内9地域の生態系ネットワーク協議会の相互交流を促進し、生物多様性保全活動の更なる活性化を目指していきます。

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン） 〕

「2019 愛知環境賞」の表彰式を行いました

愛知県では、資源循環や環境負荷の低減を目的とした優れた<技術・事業> <活動・教育>を実践する企業、団体等を表彰する「愛知環境賞」を平成17年3月に創設し、昨年までに181件を表彰してきました。

15回目となる今回は、43件の応募があり、例年以上にレベルの高い事例の中から、選考委員会で先駆性・独創性、環境負荷の低減効果、社会全体に対する波及・啓発効果などを総合的に審査し、金賞のブラザー工業(株)、(株)名南製作所を始め14件の受賞者を決定しました。

2月14日にローズコートホテルで行った表彰式では、主催者である愛知県の森岡副知事と環境パートナーシップ・CLUBの柘植康英会長(東海旅客鉄道(株)会長)、及び中日新聞(株)の澤田事務局長、名古屋市の青木市民経済局参事から、各受賞者に表彰状とトロフィーが授与されました。



「金賞」のブラザー工業(株)



「金賞」の(株)名南製作所

詳細は愛知環境賞のWebページをご覧ください。

(<http://aichikankyoushou.jp/>)

2019 愛知環境賞 受賞者一覧

賞の種類	受賞者	受賞事例
金賞	ブラザー工業(株) (名古屋市瑞穂区)	人づくり、体制づくり、魅力ある活動づくりに努め、グローバルにつながる生物多様性保全活動
	(株)名南製作所 (大府市)	加工困難な国産針葉樹から合板製造を可能にした装置の開発(国内シェア88%)
銀賞	名古屋都市エネルギー(株) (名古屋市中区)	「下水再生水の活用」と「電力・都市ガスのベストミックス」で最高クラスのCOP(システム効率)を実現
銅賞	(株)マルコー商会 (豊橋市)	混合廃棄物の極限のリサイクルをオープンな「見せる化」工場で実現するリサイクル業態改革
	メトロ電気工業(株) (安城市)	「オレンジヒート®」の開発による加熱方法の革新と大幅な環境負荷低減
中日新聞社賞	豊田市立滝脇小学校 つばさと根っここの会 滝脇小学校 地域学校共働本部 (豊田市)	学校を核とした地域の宝づくり ～半世紀以上にわたる地域と連携した愛鳥活動(知る・守る・広げる)の実践～
名古屋市長賞	(有)サンメンテナンス工機 (名古屋市長区)	超硬工具の研削加工時に発生するスラッジの一連のリサイクルサービスの構築
優秀賞	久野金属工業(株) (常滑市) (株)マイクロリンク (名古屋市西区)	製造業に「生産性向上と環境負荷低減」の好循環を提供すると新システム「IoT GO®」の開発と普及
	(一社)しげんカフェシステムズ (津島市)	家庭の資源買取りシステム「しげんカフェ」の構築と普及
	チヨダ工業(株) (愛知郡東郷町)	新設計金型の開発による超高張力鋼板の冷間プレス加工
	豊橋技術科学大学 (豊橋市) ゼネック(株) (豊橋市) 愛知電機(株) (春日井市) (株)イーパワー (東京都港区)	産学融合コンソーシアムによる小規模普及型バイオガス発電システム
	トヨフジ海運(株) (東海市)	環境と人に調和した自動車運搬船「TRANS HARMONY 1」
	長坂養鰻場 (西尾市)	高濃度酸素及びナノバブル技術の応用による省エネ・高密度循環る過ウナギ養殖事業
	(株)山田組 (名古屋市中川区)	建設業の「強み」を生かした環境出前講座の継続的実践活動

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)〕

水質事故未然防止対策説明会を開催しました

油や有害な物質が河川など公共水域へ流出すると、魚が死んだり、水道水の取水ができなくなったりする等、大きな被害をもたらすことがあります。このような水質事故は、愛知県内だけでも、毎年100件ほど発生しています。

こうした水質事故の未然防止を図るため、愛知県では県内の事業者を対象に「水質事故未然防止対策説明会」を開催しています。

今年度は1月23日に開催し、109名の方々が参加されました。

説明会では県内での水質事故の発生状況や、これまでに起きた事故の主な発生要因、未然防止のために必要な対策等を説明しました。

また、アイシン精機(株)安全衛生環境部 環境保全チーム チームリーダーの伊藤真^{いとうまこと}さんから「事業場における取組事例等の紹介 ～水質事故未然防止へ

の取組み～」と題し、水質事故を防ぐために取り組んでいる対策や従業員への教育体制、事故発生時の訓練の方法などをご紹介いただきました。

県では、今後も説明会等を通して啓発を行うとともに、Web ページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0005.html>)でも随時、日常点検チェックリストやリーフレット等を掲載し、水質事故の未然防止に必要な情報を提供していきます。



説明会の様子

水大気環境課 水・土壌規制グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

「災害廃棄物処理図上演習」を実施しました

大規模災害が生じた場合に発生する大量の廃棄物は、生活環境を悪化させるだけでなく、復旧・復興の大幅な遅れへとつながるおそれがあります。平成28年10月に策定した「愛知県災害廃棄物処理計画」では、愛知県、市町村及び民間事業者団体等が連携・協力して、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理を行うこととしています。

このため、県では昨年度に引き続き、県(環境部、防災局、県民事務所等)、市町村、一部事務組合、環境省中部地方環境事務所及び民間事業者団体(愛知県衛生事業協同組合、(一社)愛知県産業廃棄物協会、(一社)愛知県環境測定分析協会)から延べ170名の参加のもと、災害廃棄物処理図上演習を県内3地域(1月28日(西三河)、29日(東三河)、2月6日(尾張))で実施しました。

図上演習では、仮想都市として設定した3市(沿岸部、内陸部、都市部)・1県に参加者を割り振り、大雨による水害・土砂災害の発生後5日目から7日目までの3日間の想定で、災害廃棄物処理に係る様々な課題への対応をロールプレイング形式で実践しました。参加者には、住民からの要望などに対して一定の時間内で判断を求め、災害時の切迫感を疑似体験してもらいました。演習を通じて、業務手順や連携体制を確認することができ、災害時の対応力の向上につながることとなりました。



図上演習の様子

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)



高校生が専門家等の支援を受けながら、環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動が昨年6月から3月にかけて行われています。

最終回は、「愛知県立豊橋東高等学校 GLOBE」の皆さんの活動を紹介します。

【活動データ】

○テーマ

東三河ジオパーク構想を応援しよう！

○ファシリテーター

NPO 法人アスクネット

キャリア教育コーディネーター 山田 将人さん

○協力いただいた専門家

蒲郡市生命の海科学館 館長 山中 敦子さん

豊橋市自然史博物館 主任学芸員 加藤 千茶子さん

鳳来寺山自然科学博物館 学芸員 西村 拓真さん

豊橋東高校 GLOBE は、「渥美半島の海岸沿いにある貝塚を調べたら、当時の海岸線がわかるかもしれない」という発想から、東三河地域のジオサイト(科学的に貴重な地質や地形、美しい自然景観等)の調査をしていたところ、東三河ジオパーク構想を知り、高校生のできる範囲で応援することとしました。

あいちの未来クリエイト部の活動では、「豊川流域の石」「マグマの島・竹島」「旧鳳来町の地質と自然」という3テーマで、ジオサイトの現地調査を行いました。

「豊川流域の石」の調査では、豊橋市自然史博物館の加藤さんの指導のもと、豊川の下流(豊橋市)

で見られる石の調査を行った後、上流にある豊川と宇連川の合流地点(新城市)でも調査を行うことで、それら



豊川河川敷での調査

の石がどちらの川から来たのかを確認しました。

「マグマの島・竹島」

の調査では、蒲郡市生命の海科学館の山中さんの指導のもと、竹島で見られる断層や岩脈等について学習しました。



竹島での調査

「旧鳳来町の地質と自然」の調査では、鳳来寺山自然科学博物館の西村さんの指導のもと、乳岩峡や馬背岩などのジオサイトやホソバシヤクナゲなどのそこに生息する希少植物等について学習しました。



乳岩峡の調査



馬背岩の調査

これらの現地調査を通して学んだことを基に、蒲郡市生命の海科学館の来館者にジオサイトの魅力を伝えるための講座を実施

しました。今後は、より多くの方に東三河のジオサイトを知ってもらうためのカードゲームを作成していきます。



講座実施の様子

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

平成31年3月4日発行(第274号)

編集・発行 愛知県環境調査センター

企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

今年もスギ花粉が舞う季節となりました。飛散量は例年よりかなり多いと予想されており、花粉症患者には憂鬱な日々が続きます。おすすめは、帰宅したらすぐに鼻うがい。風邪予防も期待できます。ぬるま湯に食塩を少し溶かし、片方の鼻の穴から吸って、もう片方の鼻の穴や口から出します。うまくできるようになるとすっきり気持ちいいですが、1日に1~2回にしておいた方がよいそうです。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。